

第33回技能グランプリ

「表具」職種競技課題

下記の注意事項及び仕様に従って、製作図に示す作品を製作しなさい。

1. 競技時間 9時間30分

2. 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4. 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 作業開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、持参工具等一覧に従うこと。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業時の服装は、作業に適したものであること。
- (7) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3. 仕様

- (1) 製作図のとおり、襖(1枚)、2枚折屏風(1折)、掛軸の型(1) (ただし、屏風の中に張り込む)を規定の寸法に仕上げる。
 - イ. ほね下地2枚のうち、1枚は、規定の寸法につめる。
 - ロ. 袋張りは、裏表四つ切、喰裂2回張る。
 - ハ. 上張り表は鳥の子紙の無地、裏は模様形付紙を張る。
 - ニ. 襖の裏側には、引手を規定の寸法につけ、釘を打たないこと。
 - 引手のあきは胴返しとする。
 - ホ. ふち打ちは、屏風は折合打ち、平留め、木口仕上げ。
襖は折合打ち、天地、平ほど差し。
 - ヘ. 仕上がった襖は、製作図の位置(2枚折屏風の左側)に、金具蝶番でつり込む。
 - ト. 本紙の肌裏は真ん中で喰裂で打つ。仮張板には裏出しことる。
上裏(総裏)は3枚打ちとする。2か所に喰裂必要。
 - チ. 掛軸の型は、規定どおりに切り継ぎ、裏打ちしたものを、ふくりんを取って屏風の決められた位置に張り込む。
- (注) 裏打ちは、肌裏と上裏(総裏)の2回とする。
- 掛軸の形式は、大和仕立とする。(寸法は当日公表)

項目	(寸法)	
	丈	巾
本紙	当日公表	当日公表
一 文 字 上 下	当日公表	当日公表
中廻し 上 下	当日公表	当日公表
上 下 上 下	当日公表	当日公表

項目	(寸法)	
	丈	巾
筋分け(筋割り)風帶	当日公表	6分(筋5厘×2を含む)
柱	当日公表	当日公表
ふくりん	0.5分	
出来上り	当日公表	当日公表

4. 支給材料

品名	内容	数量	備考
ほね下地	べた張りましたもの	2	
ふち	6分角の色付ぶち	10	屏風、襖、同じ
上張紙	表 鳥の子紙(無地) 裏 模様形付紙	1 1	
下張紙	下 袋 紙 上 袋 紙	7 7	
掛軸用材	本 紙 一 文 字 裂 地 中廻し 裂 地 上 下 裂 地 裏 打 用 紙 ふくりん用紙(染紙)	1 1 1 1 2 1	(合金) (嵯峨どんづ) (支那パー) 肌裏と上裏(総裏)用 風帶筋用を含む
金具蝶番		2	
引手	角 形	1	
折合釘		30	襖、屏風用
釘(1寸)		16	増釘、天地用
つがい紙		1	
かまち	3 尺	2	
竹くぎ		20	
のり	支給糊のみを使用 ①京表糊、②長春糊、③みやび糊、 ④木工用ボンド(180g入)		

5. 使用工具等一覧

必要工具類一式を持参すること。

但し、仮張り、作業台、水桶、水入れは競技場で用意する。